

Biosphere2

名称	Biosphere2
国籍及び場所	米国アリゾナ州オラクル（ツーソン中心部から車で約50分） 海拔約1,200m
開発機関	設計:Pearce Structures, Inc. 建設:合弁会社Space Biosphere Ventures
運用機関	合弁会社Space Biosphere Ventures→コロンビア大学(1995年～2003年)→アリゾナ大学(2007年～現在)
施設カテゴリー	<input checked="" type="checkbox"/> ヒューマンファクター・ <input checked="" type="checkbox"/> ハードウェアシミュレーション
体験可能な危険状態	<input type="checkbox"/> 船外活動・ <input checked="" type="checkbox"/> 隔離・ <input type="checkbox"/> 通信遅延・ <input type="checkbox"/> 明暗周期・ <input type="checkbox"/> 地球からの距離・ <input checked="" type="checkbox"/> 精神的ストレス・ <input type="checkbox"/> 重力 <input type="checkbox"/> 月・火星類似地形
施設概要 (開発年、規模、特徴等)	【開発年】 建設:1987年～1991年(7年間)、 【施設の規模】床面積 12,700㎡、土地面積 160,000㎡
施設関連画像	   
実施されたプログラム/ミッション	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者8名による閉鎖系での自給自足生活 実験実施期間:1回目:1991年9月26日～1993年9月26日(2年間)、2回目:1994年3月～9月 実験参加者:8名 ロイ・ウォルフオード、ジェーン・ポインター、テイバー・マッカラム、マーク・ネルソン、サリー・シルバーストーン、アビゲイル・アリング、マーク・ヴァン・ティロ、リンダ・リー ・ほか、海洋研究、CO2等の生態系研究とうの個別研究成果 現在の研究 <ul style="list-style-type: none"> ・Landscape Evolution Observatory (LEO、地形変化観測所) ・Lunar Greenhouse (月面温室) ・垂直農法プロジェクト (CivicFarmsと共同) ・施設見学、合宿、科学教育、スペースキャンプ ・京都大学宇宙総合学ユニットによる各国学生との共同実習プログラム(6日間の滞在)
参照資料	<p>バイオスフェア実験生活～史上最大の人工閉鎖生態系での2年間～ ブルーボックス 1996年11月20日</p> <p>PUSHING OUR LIMITS -INSIGHTS FROM BIOSPHERE2-, MARK NELSON, THE UNIVERSITY OF ARIZONA PRESS 2018年(翻訳中)</p> <p>アリゾナ大学 Biosphere2 の現在のホームページ https://biosphere2.org/</p> <p>Facebook ページ、Wikipedia 日本語 Wikipedia 英語</p>